

『人口減少社会でも輝く！埼玉研究会』report

第5号 (平成 27 年 8 月 28 日号)

編集・発行：彩の国さいたま人づくり広域連合 政策研究担当

第5回研究会を開催しました！

第5回研究会を8月28日（金）に自治人材開発センターで開催しました。今回の研究会では、9月18日（金）の中間報告会（会場：当広域連合の講堂）に向けて、各チームによる事業案発表、発表内容の修正等を行いました。

まず、各チームで作成したスライドにより模擬発表を行いました。模擬発表終了後、研究員皆から各チームの発表に対する意見、質問を出し合い、それを参考にして発表内容の修正、スライド案の調整等に取り組みました。

今回は丸々1日使って「発表」と「意見交換」を繰り返し、内容を磨きあげました。模擬発表の時、初回は緊張している様子だった発表者も、この日の最後に行った「とおしの発表」（最初から最後までをとおしでやってみました）では、堂々と自身に溢れた表情、振る舞いで発表をしていました。本当に頼もしい姿でした。

中間報告会まで残りわずかですが、当日までしっかり準備し、より良い発表となるよう頑張っていきたいと思います。皆さん、私たちの発表を楽しみにしてください。（そして、応援もお願いします！）

※毎号掲載している各チーム（自然増・社会増・雇用増）の「事業案検討」コーナーは、今回はお休みします。。。

これまで検討を進めてきた事業案の内容は【中間報告会】を楽しみにしてください！

いよいよ「中間報告会」です！

政策課題共同研究 中間報告会 2015

人口減少と 空き家を乗り越えろ！

いよいよ「中間報告会」です。

中間報告会は、これまでの研究の進捗を報告するとともに、参加者の皆さまとの質疑応答を通して様々な視点からの意見を頂戴し、今後の研究活動の発展へつなげていくことを目的としています。たくさんの方のご参加を研究員一同お待ちしております！

【日程等】

日 時：平成27年9月18日（金） 13：00～16：20（開場 12：30～）

会 場：自治人材開発センター講堂（さいたま市北区土呂町2-24-1）

内 容：政策課題共同研究（「人口減少社会突破戦略」「空き家有効活用」）の中間報告のほか、特別セミナーとして、地方創生コンシェルジュ（3名）の講演（テーマ：地方創生、少子化社会、空き家）を予定しています。

申込み：彩の国さいたま人づくり広域連合 政策研究担当までご連絡ください。（電話：048-664-6685）

※チラシ <http://www.hitozukuri.or.jp//jinzai/seisaku/kyodokenkyu/H27kyodokenkyu/H27tyukan.pdf>

フィールドワーク報告

8月24日（月）、研究会のフィールドワークで日本創成会議 座長 増田寛也氏の講演（「人づくりセミナー」、主催：彩の国さいたま人づくり広域連合）に行ってきました。

【フィールドワーク（「人づくりセミナー」）の概要】

日 時：平成27年8月24日（月）、13:00~14:30

会 場：埼玉県県民健康センター大ホール

講 師：東京大学公共政策大学院 客員教授

日本創成会議 座長

増田 寛也 氏

テーマ：「地方創生 埼玉の課題と展望」



【増田 寛也 氏】

講演では、日本創成会議が本年6月4日に提言した「東京圏高齢化危機回避戦略」をベースに、今後の人口減少社会の展望を広くご講演いただきました。埼玉県の状況に詳しく触れていただき、また、講演終了後の質疑応答でも研究員の質問に丁寧にお答えいただくなど、今後の研究活動にとって実に有益なフィールドワークとなりました。増田先生、本当にありがとうございました！



（写真は左から、満員の会場風景、遠藤研究員の質問、岸研究員の質問）

※この日の講演内容（要旨）は、彩の国さいたま人づくり広域連合政策情報誌「Think-ing」に掲載される予定です。

研究会の仲間を紹介します♪（第4回）

私たちの研究会は牧瀬先生と、職場も年齢も経験も様々な「個性溢れる」研究員22名で構成されています。このコーナーでは、毎号研究会の仲間たちを紹介していきます。

宮地 将弘（自然増チーム）



所属：凸版印刷株式会社大宮営業所
「研究員の皆さんの意見に耳を傾け、自らの考えも明確に伝える。主体的に周囲を巻き込み、課題解決に向け注力していきます。」

藤平 達彦（自然増チーム）



所属：埼玉県少子政策課
「他団体から参加している研究員の皆さんとの交流の中で、視野を広げられるよう頑張っていきたいと思います。」

吉田 亘（社会増チーム）



所属：三郷市企画調整課
「研究員の皆さんから刺激をいただき、また逆に刺激を与えられるような研究員を目指します。」

土屋 敬二（雇用増チーム）



所属：幸手市教育委員会総務課
「研究した政策の導入が目標です。県内自治体に真に役立つ報告書を作りたいと思います。」

～今号の最後に事務局から～

早いもので研究開始からもうすぐ4カ月が経過しようとしています。研究の折り返しである中間報告会が目前に迫ってきました。中間報告会ではこれまでの検討経過を報告させていただきます。皆さんから良かった点、悪かった点、こういう視点はどうかなど、様々な角度からたくさんのご意見・ご感想を頂戴できればと思っています。いただいた意見等は後半の研究会で参考にさせていただきたいと思っていますので、皆さんよろしくお願いいたします！

◆研究会に関するお問合せは「政策研究担当」まで TEL：048-664-6685 E-mail：jinzai03@hitozukuri.or.jp